三重県スポーツ少年団卓球交流大会ルール及び試合方法

１， 試合の方法について

①試合はリーグ戦又はトーナメントとする。（出場チーム数によって決定する。）

②小学生団体予選リーグ、決勝トーナメントとも５ゲームスマッチ（３ゲーム先取）とする。中学生は全試合５ゲームスマッチ（３ゲーム先取）とする。

※参加チーム数等で変更になる場合があります。

③試合球は（公財）日本卓球協会公認４０ｍｍ（VICTAS）を使用する。

④チーム編成は開催要項を参照のこと。

２，友好試合について

試合進行状況により友好試合を行うことがある。ただし、友好試合は競技の進行により、途中で打ち切る場合がある。

３，服装について

①ユニフォームについて団体戦出場チームで統一する必要はない。

②各選手はゼッケン（開催要項参照）をユニフォームの背中につけること。

４， その他

①試合方法等変更が生じる場合には、監督者会議で協議する。

②記録には自分の筆具を使う。

③団体戦では競技運営上、同一チームの試合を並行で行うこともある。

④競技者は相手に対して競技中、監督・選手に影響を与え、ゲームの品位を落とすような癖、態度は慎み、常にフェアプレーに徹するよう努めなければならない。

⑤観客及び応援者は競技中、監督・選手に影響を与えるような応援をしてはならない。また、写真撮影のためのフラッシュを用いることは選手に影響を与えるので禁止する。これらの応援や行為に対し、守れない場合は審判長が注意をする。監督は、選手・関係者にこれを徹底させること。

⑥ベンチコーチは監督１名、コーチ１名が入ることができる。

⑦参加申込時及び試合当日団員が欠席となり、チームが２名以下となった場合、大会当日の監督会議及び対戦チームの監督と協議のうえ、決定する。